

学校評価アンケート結果報告

令和6年1月
大阪高等学校

本校では、よりよい学校づくりを目指して改革を続けております。教育環境を整え、より大きな教育成果をあげることを目的に、様々な取り組みを重ねて参りました。その成果を検証するとともに、さらなる改善に向けた課題形成を図る機会の一つとして本年度も学校評価アンケートを実施しました。集計結果に分析を加えて、学校改革・教育改善の進捗をお伝えすべく、本書面をまとめました。ご高覧のうえ、忌憚のないご意見等を頂戴できれば幸甚です。

学校長 岩本信久

凡例と集計方法について

凡例：■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う

集計結果は、特に断りがない場合、「わからない」を除いた有効回答を分母とした百分率で表示しています。グラフ中の数値は小数点以下を四捨五入しているため、表示が一致しないことがあります。今後も情報発信の充実を図り、教育意図の説明をはっきり行うことで、皆様からご明確なご判断を仰げるように努めて参ります。

「入学させて良かった」は9割超を維持

Q1 お子様を大阪高校へ入学させてよかったと思われま
すか。(=総合的な満足度)

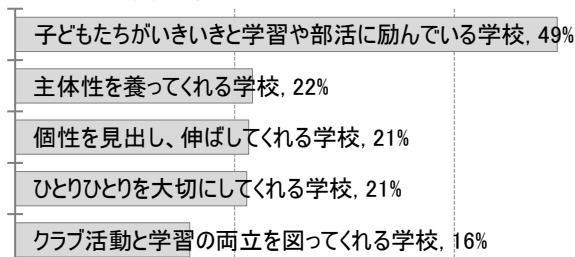


毎年お尋ねしている「大阪高校に入学させて良かったか」という質問では、肯定的な回答が9割以上を占める状態を維持しましたが、低下の傾向が見取れます。すべての生徒、保護者から「大高を選んで良かった」と答えていただけるよう、教育活動の改善、問題点の解決に全校を挙げて取り組んで参ります。

教育改善に投じられるリソースには限りもあることに加え、教育活動の充実を全方位で満遍なく図ることは、生徒の負担も大きくしかねず、一つひとつの学びにじっくり取り組むのを難しくする恐れもあります。これまでにお寄せいただいた学校評価のデータや様々なご意見などを改めて精査し、大高を選んで正解だったとの認識に結びつきやすい項目から優先して、着実な改善を図ります。各教職員の抱く問題意識も従来に増して強くなってきました。それぞれが認識する問題点、改善課題の共有を図り、全教職員の知恵を持ち寄って有効な改善プランの描出に取り組んでいるところです。進捗をご期待下さい。

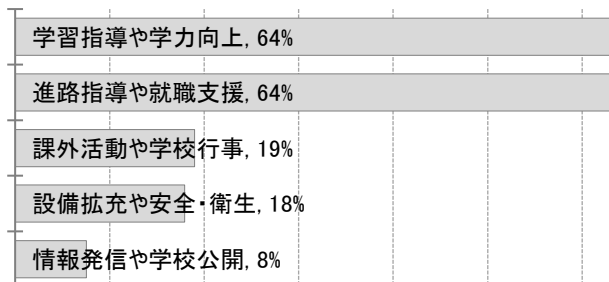
学校のイメージと改善課題

Q2 本校の特徴として次のどれが当てはまりますか。



本校の特徴では「子どもたちがいきいきと学習や部活に励んでいる学校」、充実を求めたいものでは「学習指導や学力向上」「進路指導や就職支援」が多くを占めるのはこれまでと変わりません。「主体性を養ってくれる学校」も増加しています。イメージや期待に違うことのない学校経営を今後も心掛けます。

Q3 学校にさらなる充実を求めたいものは何ですか。

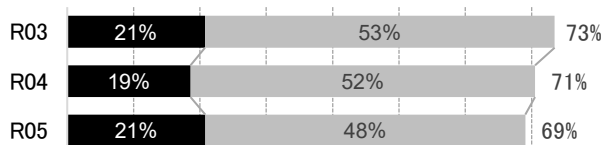


学校にさらなる充実を求めのお声は、学習指導と進路指導に多くが集中しています。子どもに獲得させたい資質でも、「将来を切り開いていく力」を選ぶケースが最多であり、その土台となる確かな学力の形成と一人ひとりの資質や志向にマッチした進路の発見と実現に、これまで以上の注力をお約束いたします。21世紀型能力における「基礎力、思考力、実践力」の獲得に日々努力を重ねる生徒をしっかりとサポートすることを校是に、アンケートで示されたご要望に、正面から腰を据えて応えていく所存です。

学習指導と進路指導のさらなる充実

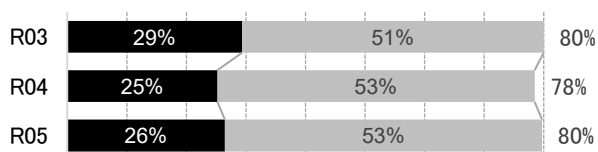
「学習指導や学力向上」「進路指導や就職支援」でのさらなる充実を求める多くの声に応えるべく様々な改善策を講じてきましたが、まだ保護者の期待に応えきれていないところがあり、教職員もまたさらに改善を進める必要を感じています。新年度に向けて、これまで以上に実効性のある改善計画を立てるべく分掌や学年での検討を鋭意進めているところです。

Q4 学習指導は充実しており、学力向上に十分な成果を挙げていると思われませんか。



学習指導に対する評価は以前よりも厳しいものとなりました。毎年2回実施の授業評価アンケートの結果などを踏まえ、日々教科学習指導のスキル向上に努めておりますが、新しい学力観のもとでの授業作りは道半ばです。教職員も改善の余地ありとの認識を広く持っています。校内外の優れた実践に学び、個々の教員の授業者としての成長を図るとともに、組織的な取り組みを推し進めます。教科固有の学習内容の確かな定着に加え、協働性や多様性、主体的に学ぶ姿勢の涵養などにも一層注力いたします。また、大高の学び(授業のみならず広範な教育活動)を保護者の皆様にも実際にご覧いただく機会を、授業参観(本年度は育友会主催で6月に実施)などで整えます。

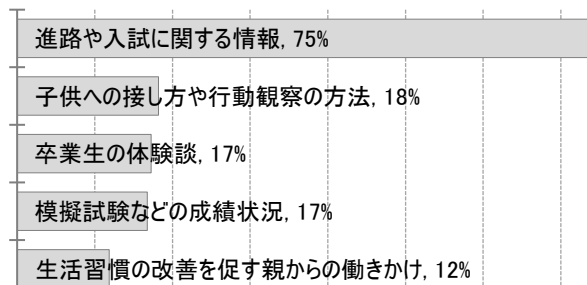
Q5 進路指導が充実しており、生徒の希望進路の発見・実現に十分に役立っていると思われませんか。



進路指導への評価は昨年とあまり変わりません。これまで同様に、3年生の保護者からは概ね良好な評価を得ている一方で、1年生、2年生は改善の余地が大きく残りました。入学から卒業まで見通した計画的な進路指導を実践するとともに、教員個々の進路指導スキルの向上とアップデートにも取り組んでおりますが、指導計画の全体像や各時期の指導内容とその成果などを保護者の皆様に伝える取り組みにも一層注力します。進路講演などの行事に関する情報

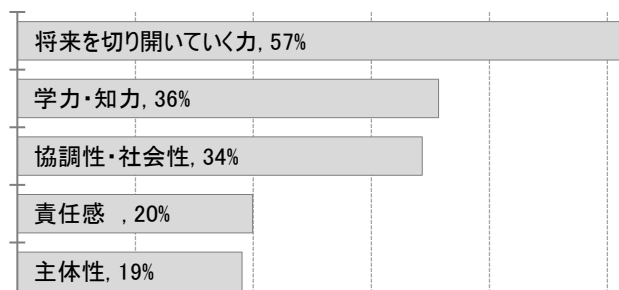
も発信を心掛けますので、学校ホームページのNEWSも折に触れてご覧いただければ幸いです。これからも文理特進、総合進学、探究の各コースが目標とする多様な進路の実現を目指し、生徒一人一人ひとりが社会と自分に向き合える機会の整備に努めます。

Q6 保護者会などで取り上げてほしいことは？



「保護者会やクラス懇談会で取り上げてほしいこと、充実を望むことはどれですか」という質問に対し、「進路や入試に関する情報」の選択が以前にも増して多く見られ、進路を取り巻く状況と実際の指導の様子に強い関心が向けられていることを改めて認識したところです。他の項目では回答の分布にコースや学年ごとの特徴も見取れます。それぞれのニーズをより精緻、且つタイムリーに把握した上で、必要な情報を余さずに届けていく所存です。

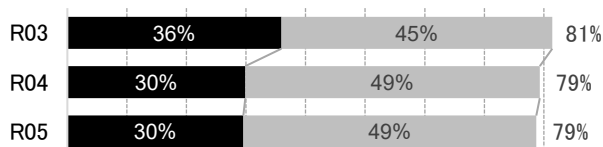
Q7 お子様に獲得させたい資質はどれですか。



子どもに獲得させたい資質として挙げていただいた項目の分布もこれまでと大きくは変わるところはありません。不動のトップである「将来を切り開いていく力」の獲得には、引き続き、最優先で取り組んでいきます。生徒が自らの将来を切り拓く原動力は「確かな学力」であり、それを正しい向きに働かせる羅針盤と舵は「進路指導」です。まずは、これらの一層の充実を図ります。「協調性・社会性」「責任感」の選択率は、学年が上がるごとに高まります。個々の生徒内で発揮される力を着実に涵養しつつ、それらを社会で活かす方法を段階的に学ばせていく計画です。

目標をもってひたむきに頑張る姿

Q8 保護者の目から見てお子様は、学校生活の様々な場面で目標をもってひたむきに頑張っていると思いますか。



「学校生活の様々な場面で目標をもってひたむきに頑張っていますか」という問いへの肯定的な回答が占める割合は昨年まで低下が続いており、遺憾ながら今期も回復するに至っていません。生徒の情熱とチャレンジを応援することを校是としている以上、巻き返しは喫緊の課題と認識しています。学習、進路、部活、行事といった学校生活のあらゆる場での活動に、生徒一人ひとりが自分の目的を見出させるよう、「振り返り」と「次に向けた課題の設定」に取り組ませてきましたが、ここまでの指導は十分でなかったということです。別の質問で尋ねた「頑張る対象」で教科学習、進路実現、クラブ活動を選んだ保護者が、この問い(Q8)に肯定的な答えを選ぶ傾向は、今年も変わりません。興味関心を刺激する授業の実践、自分の将来に向き合う機会の創出、一人ひとりが活躍できる部活の環境作りを改めて取り組んでいきます。

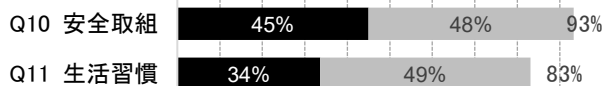
Q9 お子様は、自分なりの目標や課題をもって日々の学習に取り組めるようになりましたか。



学習面に絞ってお尋ねした「お子様は、自分なりの目標や課題をもって日々の学習に取り組めるようになりましたか」という質問も、昨年からの顕著な改善は見取れなかった結果でした。生徒が「自分なりの目標や課題」をもって学業に取り組むには、進路意識の芽生えを待つより、日々の学びの中で振り返りを的確に行わせる中で、より良いパフォーマンスを得るのに必要なことを考え出す「メタ認知・適応的学習力」の涵養を図りながら、次に向けた自分の目標をしっかりと設定させることが有効と考えます。こうした指導／働き掛けに、各教科の授業担当者が目線を合わせて取り組んでいこうと思います。外部試験に向けた準備(計画と実行)も好適な指導の機会と捉えています。進路意識の形成を支え、後押しすることで、

生徒一人ひとりが「学ぶことへの自分の理由」を見つけられるよう、「学習・探究・進路の各指導の統合」の加速にも全校を挙げて取り組んで参ります。

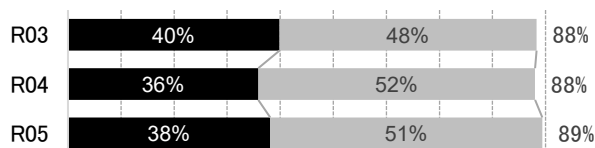
安全確保と規律ある生活の実現



「生徒の安全に対する学校の取り組み」では肯定的な回答が昨年より3ポイント増えましたが、「高校生にふさわしい規律ある生活」は2ポイント低下しました。いずれも「どちらかと言えば」との但し書きがつくものが多く、指導にはまだ見直すべき点が残っているようです。まずは、問題点の洗い出しを行っていきます。後者については、強い関連で結ばれている「目標努力」「行動選択」「自律学習」などの項目群と一体で改善を進めていくのが好適と考えています。

学校広報のさらなる充実を図ります

Q12 学校からの連絡文書や懇談会などを通じて学校の様子は十分に知ることができますか。



学校広報については昨年度を上回る評価をいただきましたが、まだ肯定的な回答の占める割合が9割に届きません。従来とは異なる新たな教育を展開している今だからこそ、学校の様子はしっかり伝えるべきと考えております。ホームページでの情報発信も、漏れの生じないよう計画作りを進めています。

Q13 進路希望や将来の職業あるいは学校での様子などについて家庭で話をすることはありますか。

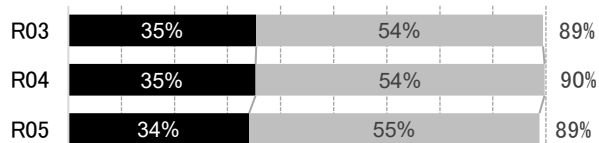
- ①話をする機会がよくあり、保護者も関心をもって会話に臨んでいる
- ②話をする機会はあるが、あまり突っ込んだ話にはならない



解析を通じ、ご家庭での会話には、生徒がやるべきことを見出したり、課題を具体化できたりといった効果があることが判明しました。時期に応じた話題とその材料の提供にも今後一層努めて参ります。

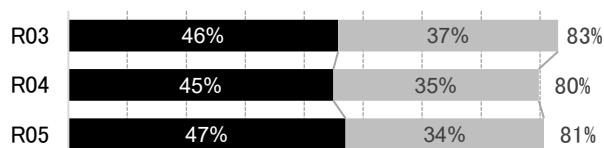
学校行事、部活動の指導

Q14 学校行事が充実しており、行事についての様々な工夫や学校の姿勢が強く感じられますか。



引き続き概ね良好な評価をいただいたものと考えます。生徒の主体性や協働性を育む教育の場として今後も「生徒が主役の学校行事」の実現に努めます。

Q15 生徒の部活動に対して、クラブ顧問は熱心に指導していると思われませんか。



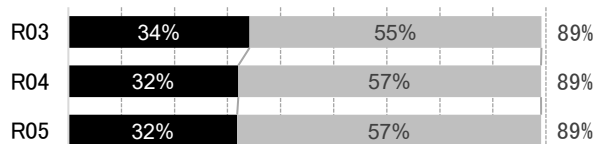
部活動顧問の指導に対する評価は以前と大きくは変わりません。「わからない」の選択も35%と多く、ご家庭が顧問団の指導を評価するだけの判断材料[情報]が不足したようです。学習指導、進路指導、学校行事と同様に、部活動指導の方針などもご判断に足る十分な情報をお届けするよう努めて参ります。

将来を考えた行動選択、共存の資質

Q16 保護者の目から見てお子様は、自分の将来と結びつけて今なすべきことを考えられるようになりましたか。



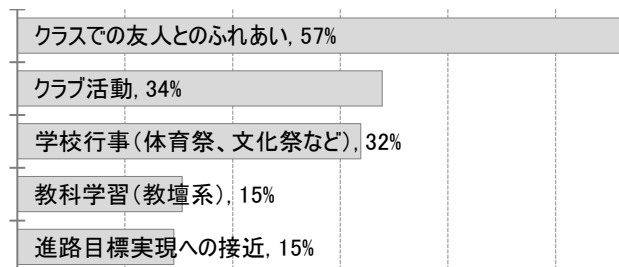
Q17 保護者の目から見てお子様は、立場の異なる相手の意見にもちゃんと耳をかたむけるようになりましたか。



保護者の目を通した生徒の成長ぶりを「将来と結びつけた行動の選択」「立場の異なる相手に耳を傾ける姿勢」についてお尋ねしました。いずれも、肯定的回答の多くが「どちらかと言えば」との但し書き付きであり、さらなる我が子の成長への保護者の期待がひとと伝わってくる結果です。あまり振るわない前

者では、正しい選択を重ねるための土台である「メタ認知・適応的学習力」の涵養を、ホームルーム活動や進路指導など多様な指導を通じて図ります。

Q18 お子様在意欲や目標をもって学校に進んで通う姿勢を示している対象は何ですか。

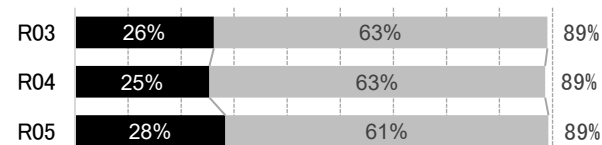


育友会の活動、保護者との相互理解

育友会の活動では「関心がある」は33%、「内容を知っている」は微増ですが27%です。活動内容や広報のあり方に抜本的な見直しが必要と考えます。

Q19 育友会について	R03	R04	R05
1. たいへんに関心があり、内容も分かっている	4.8%	3.6%	4.7%
2. 関心はあるが、内容についてはよくわからないことが多い	33.6%	33.7%	28.2%
3. あまり関心はないが、活動の内容はある程度知っている	20.2%	18.8%	22.1%
4. あまり関心はないし、活動の内容もよく知らない	41.3%	43.9%	45.1%

Q20 学校は、保護者や地域からの要望・意見に対して誠実に対応していると思いませんか。



保護者のご要望や意見への学校の誠実な対応には肯定的な評価が大半を占めますが、但し書きのない「そう思う」は、いまだに3割に届きません。今回のアンケートでお寄せいただいた声に、しっかり向き合い、着実に応えていかねばと強く感じています。

大阪高校は今後も改革を続け、地域の期待に応える学校、在校生・卒業生が今以上に誇りに思える学校を目指します。今後ともご支援とご協力をお願いします。

本報告書へのご意見・ご質問は下記にて承ります。

TEL:06-6340-3031 FAX:06-6349-3719

保護者による学校評価アンケート担当: 教頭 上山 陽